

COMIC STUDIO

はじめての
一歩



Contents

- STEP 01 ComicStudioをインストール！
- STEP 02 ComicStudioを起動する
- STEP 03 落書きしてみよう！
- STEP 04 落書きのちょっとしたテクニック
- STEP 05 新規作成をしよう
- STEP 06 ネームを考える
- STEP 07 下描きをしよう！
- STEP 08 枠線を引く ～その1～
- STEP 09 枠線を引く ～その2～
- STEP 10 枠線を引く ～その3～
- STEP 11 ペンを入れる ～その1～
- STEP 12 ペンを入れる ～その2～
- STEP 13 ペン入れしたレイヤーを整理する
- STEP 14 3D下描き機能を使った背景作画
- STEP 15 3D下描き機能を使った背景作画 ～その2 3Dを配置する～
- STEP 16 3D下描き機能を使った背景作画 ～その3 3Dの調節～
- STEP 17 3D下描き機能を使った背景作画 ～その4 トレースしよう！～
- STEP 18 ちょこちょこ背景
- STEP 19 背景を仕上げよう！
- STEP 20 ベタを塗る



Contents

- STEP 21 効果線を入れよう！ ～集中線フィルタその1～
- STEP 22 効果線を入れよう！ ～集中線フィルタその2～
- STEP 23 効果線を入れよう！ ～放射線定規を使いこなす！～
- STEP 24 効果線を入れよう！ ～流線を入れてみる～
- STEP 25 トーンを貼る！
- STEP 26 トーンの基本操作 ～その2～
- STEP 27 トーンを貼ろう ～応用編～
- STEP 28 トーンを貼ろう ～トーン効果～
- STEP 29 セリフを入れよう！
- STEP 30 フキダシのちょっとしたテクニック ～そして完成へ～
- STEP 31 最後の仕上げ
- STEP 32 汎用フォーマットへの書き出し ～その1 とりあえず書き出してみる！～
- STEP 33 汎用フォーマットへの書き出し ～その2 書き出しとトーン～

ComicStudioをインストール！

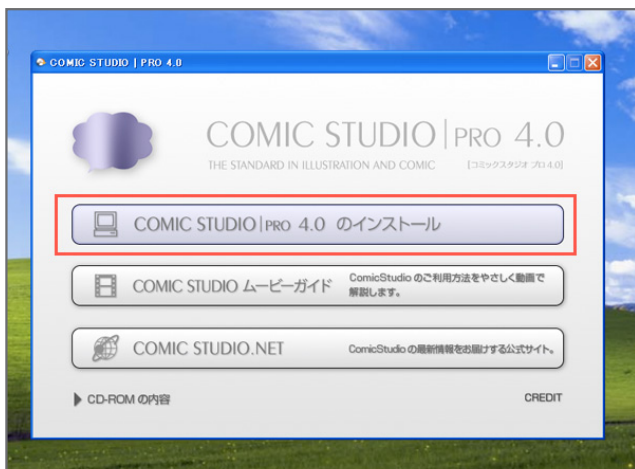
「ComicStudioを買ってみたけど、使い方がわからない！」「デジタルマンガにチャレンジしてみたいんだけど…どうすればいいの？」という初心者の方々に向けた、ComicStudio講座です。ComicStudioPro 4.0をインストールするところから、実際に2Pのマンガを完成させるまで、基本的な作業を順番に紹介したいと思います。

ComicStudioをインストールしよう！

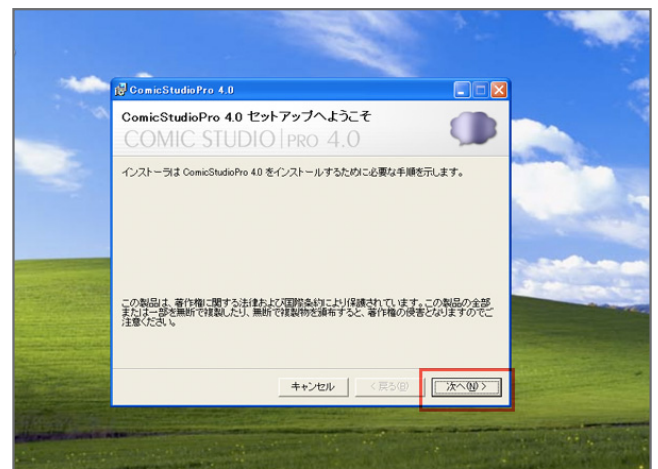
ComicStudioも、まずはインストールしなければ始まらない。とりあえず、パソコンを立ちあげてComicStudioをインストールします。

まずは、ComicStudioのパッケージを開けて、「アプリケーションディスク」を取り出します。何枚かディスクが入っていますが、ソフトが入っているのは、この「アプリケーションディスク」。他のディスクはサンプルデータや追加の素材データが入っているディスクなので、今はしまっておいて大丈夫です。「アプリケーションディスク」を取り出して、パソコンにセットします。自動的にインストーラーが立ち上がるので、「ComicStudioPro 4.0をインストール」のボタンをクリックします。

①「ComicStudioPro 4.0のインストール」をクリックします。



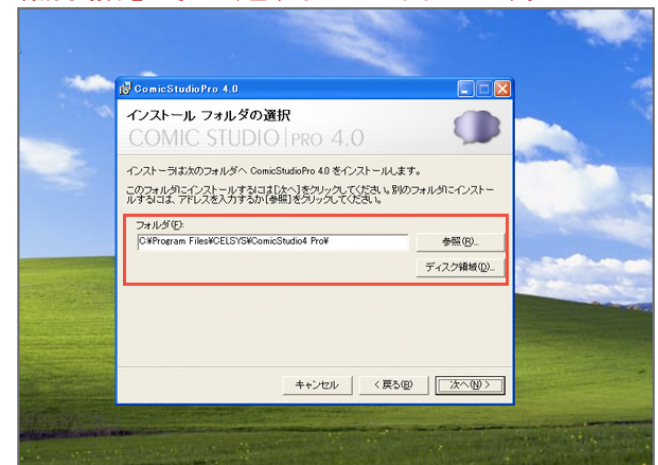
②「次へ」をクリックします。



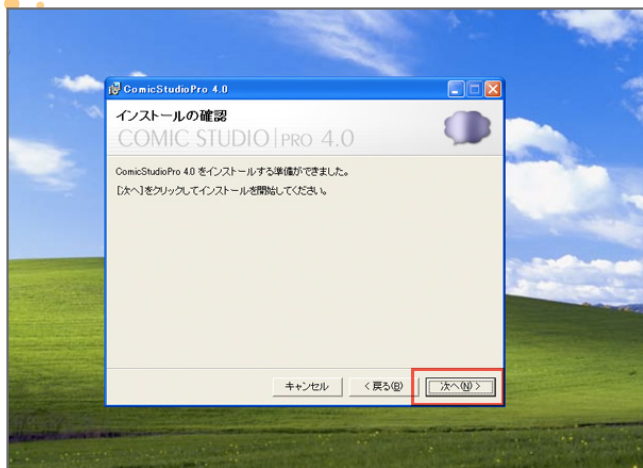
③使用許諾書の内容に同意できる場合は、「同意する」を選び、「次へ」を押します。



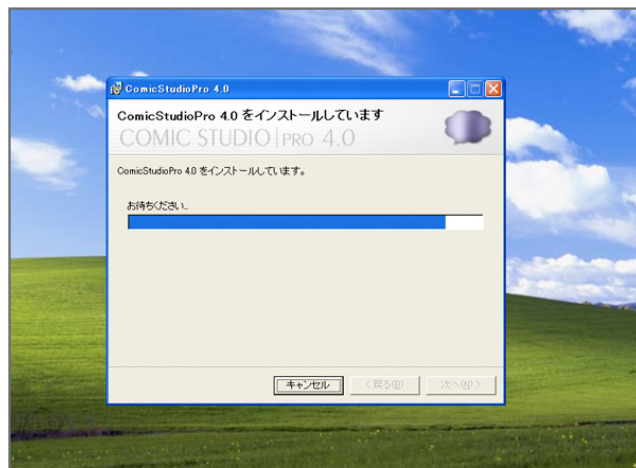
④ComicStudioのインストール先を指定します。特別な場合をのぞいて、基本的にはこのままでOKです。



⑤「次へ」をクリックします。

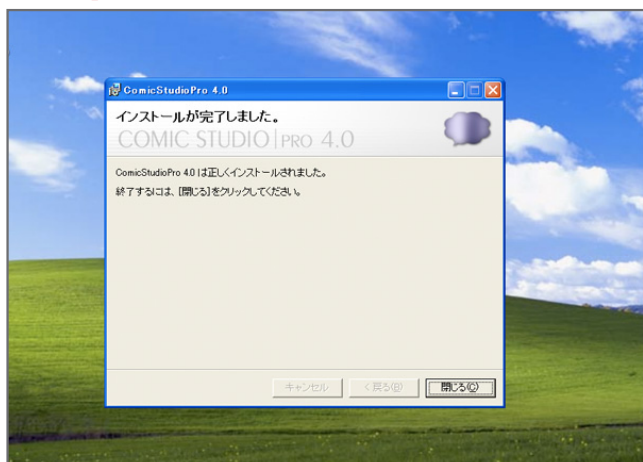


⑥インストールが始まります。



⑦インストールが完了しました。

「閉じる」ボタンを押してウィンドウを閉じます。



その後は、指示に従って「次へ」を押していけばOK。インストール先のフォルダを聞かれたりしますが、これも自分でインストール先を決めたい場合以外は、基本的にそのままOKです。指示に従ってOKを押していくと、インストールが始まり、「インストールが完了しました。」と表示されたら、インストールは完了です。「閉じる」ボタンを押して、ウィンドウを閉じます。インストールの終わったアプリケーションディスクは、この後も使いますので入れたままにしておいてください。

次は、インストールしたComicStudioを起動してみたいと思います。